

9月定例会

●会期 9月9日～10月1日(23日間)

令和5年度各会計決算を認定 請願および全提出議案を可決



9月定例会議案採決(議案第8号)

今回は	
報告	6件
市長提出議案	19件
請願	2件
議員提出議案	1件

【議案第2号】教育委員会の委員の任命に
 関し同意を求めることについて

教育委員の任命 全会一致で同意

教育委員会の委員である宮野朋士氏は、令和6年11月14日をもって任期が満了するため、新たに田村沙和子氏を任命しようとするものです。

【議案第3号】若手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更の協議に
 関し議決を求めることについて

マイナンバー法 改正に伴う変更

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(マイナンバー法)等の一部を改正する法律(令和5年法律第48号)の施行に伴い、関係市町村の処理する事務(被保険者証及び資格証明書の引渡し・返還の受付)については、資格確認書等の引渡し・返還の受付)に変更するほか、負担金の算定に係る基準日を変更しようとするものです。

討論(若手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更の協議に 関し議決を求めることについて)

【反対討論】 高橋 悦郎 議員

この議案は、現行の健康保険証を本年12月2日に廃止し、マイナンバーカードに健康保険機能を組み込んだ、いわゆるマイナ保険証での受診に切り替えるための若手県後期高齢者医療広域連合規約の一部改正である。これまで、マイナ保険証での受診によるトラブルが続出し、多くの患者と国民の間に不安が広がっている。厚生労働省の発表でも、マイナ保険証の窓口利用率は、本年3月時点で5・47%にとどまっている。こうした国民の不安の声に押されて、マイナ保険証を持たない人に対しては、現行の保険証の有効期限までの使用を認めている。また、その後1年から5年の間は資格証明書が交付できる仕組みにも見直されている。以上のことから、この議案に反対の立場の討論とする。なお、この後に審議される議案第6号「八幡平市国民健康保険条例の一部を改正する条例」にも、同様の理由から反対する。

【議案第5号】八幡平市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

一般廃棄物の処理 手数料の改定可決

廃棄物の排出抑制および廃棄物処理費の受益者負担の適正化を図るため、一般廃棄物の処理手数料の額を排出方法に応じて改めようとするものです。

Q 今までは、一般家庭から市清掃センターに直接ごみを持ち込むと無料だったが、今回の改正により、50kgを超える部分については、10kgごとに50円となる。ごみの有料化に伴う市の収入はどれぐらいの金額を見込んでいるのか。

A 5年度の搬入実績で計算すると、搬入回数が1万8979回で総重量が1165・41t。そのうち、60kg以上持ち込まれた搬入回数7629回および搬入重量878・27t。50kg以下相当分を無料扱いとして計算すると、248万4100円の収入が見込まれる。

【議案第8号】松尾村ふるさと景観条例を廃止する条例

景観条例の廃止 賛成多数で可決

松尾村ふるさと景観条例を廃止しようとするものです。

Q 若手県の若手の景観の保全と創造に関する条例の方が規制が多く、松尾村の方が景観条例を廃止しても問題ないということか。

A 松尾村ふるさと景観条例は、景観形成基準に適合の強制力はない。一方、県の条例は基準に適合するよう命令することができる。県の条例で問題ないと判断した。

Q 八幡平市の豊かな自然を守るためには、松尾村ふるさと景観条例を廃止しない方がいいのでは。

A 松尾村ふるさと景観条例を廃止することによって、旧松尾村の規制が空白になるということではない。将来的に県の条例より規制をかけた方がよいとなれば、検討したいと考えている。

討論(松尾村ふるさと景観条例を廃止する条例)

【反対討論】 古川 津好 議員

一般質問で条例廃止に伴う温泉郷の建物規制などの問題点をただした。時代の変化とともに、物事も変わっていく。私も松尾村ふるさと景観条例を金科玉条のようにいつまでも掲げておくべきものとも思っていない。しかしながら、先に指摘したように法の隙間ができてしまうことや、別荘地分譲時の温泉会社による分譲要領は条例に基づかないものであり、この条例がなくなることにより、いろいろな問題点を解決しないままでの見切り発車的な廃止は避けなければならない。条例がないことにより、太陽光パネル問題が発生したことを考えた時、松尾村ふるさと景観条例の廃止は、時期尚早と言わざるを得ない。拙速に事を進めるよりも時間を掛け、若手県に頼る景観行政ではなく、八幡平市が主体的に景観行政を行えるように、法的な周辺整備をしてから再提案すべきである。その時には、私も反対はしない。

学校薬剤師の報酬 改善求め請願採択

【請願第2号】八幡平市立学校薬剤師の報酬改善を求める請願

（請願者）盛岡学校薬剤師会八幡平地区担当幹事有限会社白樺薬局田川恵 現在の報酬は、薬剤師労働報酬から鑑みても低額であるため待遇の改善を求めます。また、市または教育委員会から市内の薬局などに向け、学校薬剤師活動への参画に対する働きかけの実施をしていただきたいです。

総務教育常任委員会の審査結果 採択すべきものと決定

学校薬剤師は、学校保健安全法に基づき置くものとされ、検査やくすり教育について学校に出向き指導を行うなど、子どもたちの快適な学校衛生環境を守る役割を担っている。その安定的な確保は大切なことであるため、市内薬局などへ教育委員会から協力をお願いするとともに、勤務実態を考慮して現状に見合った報酬額に見直すことが必要と考える。

5年度 決算

一般会計・特別会計合計で 224億4,496万円を支出

税金がどのように使われたのか—令和5年度の決算は、9月13・17・18・19・20・24・25・27日の8日間、決算特別委員会を開催し、審査しました。同委員会では一般会計と2特別会計、3企業会計を原案のとおり認定すべきものと決定。第3回定例会最終日の10月1日に本会議で全ての決算が認定されました。

令和5年度各会計の決算額			歳入(収入)	歳出(支出)
会計名				
一般会計			199億7,202万4,254円	191億2,094万4,025円
特別会計	国民健康保険		30億1,552万5,806円	30億 283万6,410円
	後期高齢者医療		3億2,220万 964円	3億2,118万3,217円
企業会計	水道事業	収益的	5億4,157万3,293円	4億9,287万3,378円
		資本的	1億6,906万9,162円	4億 512万1,126円
	下水道事業	収益的	11億3,958万6,583円	10億 305万9,518円
		資本的	3億9,562万 593円	9億3,387万4,309円
	病院事業	収益的	17億1,061万5,789円	16億1,346万7,530円
		資本的	2億4,298万9,000円	3億6,186万9,031円

↓ A Q 歳入の固定資産税滞納繰分について、4年度と比較すると2700万円ほど増加している。要因について伺う。

↓ A Q コミュニティバス運行事業は、利用者が利用しやすいように仕組みを変えるべきである。現状の内容を維持するのが、安代地区はフルデマンド運行、松尾・西根はデマンド運行の導入を計画している。幹線バスの利用促進も併せて行う。

↓ A Q 【委員会の意見】今の仕組みでは無理があるため、有効な取り組みを検討するべきである。デマンド型で調整することと、部分については、それ以外の仕組みも加えて検討すべきである。

↓ A Q 空き家の情報をホームページに掲載する際に販売価格についても考慮すべきではないか。

↓ A Q 価格は市で判断できないため、不動産会社を通して価格設定をしている。

↓ A Q 【委員会の意見】空き家バンクを含め、市に移住を希望する方が魅力を感じるように、掲載方法を見直してほしい。

決算特別委員会の主な質疑と意見

討論 (令和5年度八幡平市一般会計歳入歳出決算認定について)

【反対討論】 齊藤 隆雄 議員
令和5年度八幡平市一般会計決算認定について、反対の立場で討論する。反対する理由の一つが(仮称)大更駅前顔づくり施設実施設計委託料の1億3904万円が4年度から繰り越しされたことである。大更駅前を拠点に、にぎわいづくりは必要な施策であるが、費用対効果を鑑みたとき、新図書館の利用者人数は変わらないなど移転効果がない。また、少子化により利用者が減少する中、子育て支援施設の開設計画も人口減少対策や少子高齢化対策が急務であり最優先で取り組むべきと考える。学校給食費は近年の食材価格の高騰などにより小学校で1食27円、中学校で1食29円の値上げとなった。県内33市町村の内11市町村が全額無償化、19市町村が一部補助を実施している。市民が求めている道路の整備や下水道の整備人口減少対策、高齢者・子育て支援などに対し、思い切った予算配分が求められる。

【賛成討論】 関 治人 議員
令和5年度の実質公債費比率は15.5%で4年度と比較し、0.8%の減、将来負担比率は32.2%で4年度と比較し、3.7%の減であり、財政状況は改善されている。大型事業により、膨れしてきた公債費を「なるべく後世に残さない」との考えで、予算編成をしてきた成果であり、今後の安定した財政運営をしていく上で評価に値する。また、市民税や固定資産税の増加に加え、ふるさと納税額が約2億円に達し、過去の問題を克服して着実に回復している。これらは、今後の財政運営に明るい兆しをもたらすものである。さらに、都市計画道路大更駅前線の整備が完了し、(仮称)大更駅前顔づくり施設も進展しているため、地域経済や雇用に好影響を与えることが期待される。その他にも物価高騰対策事業として給付による市民生活の支援も実施され、一定の効果が見られた。以上のことから賛成とする。

令和6年第3回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果

議案名	議員名(会派名)																		議決結果
	1 外山 一則 (八 起 会)	2 田村 正元 (八 起 会)	3 齊藤 隆雄 (日本共産党)	4 関 治人 (八 起 会)	5 羽沢 寿隆 (八 起 会)	6 工藤 多弘 (松 西 会)	7 勝又 安正 (八 起 会)	8 北口 功 (無 会 派)	9 欠 番	10 熊澤 博 (自由クラブ)	11 立花 安文 (八 起 会)	12 渡辺 義光 (市民クラブ)	13 工藤 直道 (自由クラブ)	14 古川 津好 (松 西 会)	15 高橋 悦郎 (日本共産党)	16 高橋 光幸 (市民クラブ)	17 井上 辰男 (八 起 会)	18 工藤 隆一 (八 起 会)	
議案第3号 岩手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更の協議に関する議決を求めることについて	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	原案可決
議案第5号 八幡平市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	原案可決
議案第6号 八幡平市国民健康保険条例の一部を改正する条例	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	原案可決
議案第7号 松尾村自然環境保全条例を廃止する条例	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	原案可決
議案第8号 松尾村ふるさと景観条例を廃止する条例	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	反対	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	原案可決
議案第13号 令和5年度八幡平市一般会計歳入歳出決算認定について	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	原案認定

※議長は採決に加わりません



事業の重要性が増すシルバー人材センター

Q 地域おこし協力隊員は年々減っており、平成30年度には8人だったが、令和5年度は2人となっている。なぜ減少しているのか。

A 売り手市場であり、他の自治体と競争することや他産業に流れる方もいるため減っている。

Q 【委員会の意見】 広く人材を募集して、多くの隊員を採用し、事業を有効活用してはどうか。

A ふるさと応援寄附金は県内33自治体中、当市は下位の方である。花巻市は90億円を超えている。他市に負けている要因は過去の食品偽装問題や返礼品の出荷量が限られていることが要因である。

Q 【委員会の意見】 地元企業と協力体制を取り、返礼品の内容やPR方法を研究し、積極的に取り組んでほしい。

Q さまざまな業種で人手不足が起きている中、シルバー人材センターは重要である。人材の勧誘状況などを伺う。

A 会員の募集に努めているが、定年延長などにより登録していただける方が減少してきている。

Q 【委員会の意見】 人材不足が深刻な中で、この事業は貴重な制度である。運営内容の検討をすべきと考える。

A ごみの量自体は減っているが、リサイクルは進んでいない。改善策は、広報や市ホームページでの周知、出前講座などの活動を粘り強く行っていくしかないと考えている。

Q 【委員会の意見】 リサイクル率向上には、市民のご理解・ご協力が必要不可欠である。さらなる周知、活動に努めてほしい。



地域おこし協力隊活動報告会の様子

Q 部活動の地域移行を実施した結果、教員の負担は減少したのか。

A 教員の負担については、現状では大きく変わっていない。学校の意向に沿った形で、国の目指す方向になるようにしたい。

Q 【委員会の意見】 地域の実情を考慮し、国の指針を早急に示すよう求めること。市でも早急に関係者と話し合いの場を持ちながら進めていくことが必要である。

A 平館高等学校教育振興事業について、県との協議も必要だと思うが、例えば1学年15人程度になったとしても学校の存続は可能か。

Q 市としては、存続に向けて支援をしていく。地域みらい留学（住んでいる都道府県の枠を超えて、高校を選択できるシステム）を平館高校では取り組んでいる。

Q 【委員会の意見】 地域みらい留学については、大変良い取り組みであるため、今後進めてほしい。

A 市教育委員会は「国際交流を見据えた英語力の向上」を大きな指針に掲げている。国際交流という中で、今後海外への短期留学もしくは海外からの短期留学の受け入れなどの計画はあるのか。

Q 留学または留学の受け入れについては、今のところ小学生や中学生も含め、計画していない。

Q 【委員会の意見】 合併前に旧町村で行っていた、生徒の海外短期留学の実施を検討してはどうか。

Q 畜産施設事業について、現在の繁殖育成センターの利用頭数は、また、農協の支援で預託料の助成などはないのか伺う。

A 現在の頭数は268頭で、内訳は和牛が126頭、ホルスタインが142頭である。利用率にして2割ほどである。また、預託料の助成については、まだ農協と協議していない。

Q 【委員会の意見】 市として、利用頭数を増やすため、農協独自の支援も視野に入れた預託料引き下げについての協議が求められる。

A 林業振興事業について、積極的に民有林の下刈りなどの補助を行うとある。額も1億2739万円、前年に比べ伸びている。民有林の補助とは。

Q 【委員会の意見】 森林組合が、今現在機能不全の状態である。正常な業務ができるよう、市からも指導願いたい。また、積極的に市民に情報発信すべきである。民間の事業者が八幡平市でイベントを開催する際に補助などは考えているのか。民間の事業者への補助などについては、検討していない。

Q 【委員会の意見】 将来、観光客を増やし、それを発展させて関係人口を増やしていくことも必要と考えるため、イベント実行委員会で検討してはどうか。



課題が多い繁殖育成センター

Q 八幡平メデitekバレー推進事業について、6年7月にAPTECHが破産したが、現状や今後の展開は。

A 新たな事業者が引き継いで、事業を行っている。本年度は血圧をモニターする実験を大更・松尾地区を対象に行っている。

Q 【委員会の意見】 先端のICT技術を活用し、過疎地の医療福祉の問題解決を行う大事な事業である。さまざまな場所での活動報告をしてほしい。

A 道路軽舗装整備事業は要望がある90路線に対し、整備されたのが5路線である。市道の改良拡幅舗装事業などに余裕がある場合は、流用できないか。

Q 過疎債や辺地債の対象事業なので、流用は非常に厳しい。

Q 【委員会の意見】 市全域の均等ある発展を保障する立場から善処すべきである。



地域みらい留学の説明会の様子(東京都内)

Q スポーツツーリズム（スポーツ活動を目的に旅行や観光をすること）推進事業について、いわてスポーツコミッションの活動内容を伺う。

A 主に首都圏での活動を実施している。県と一緒に合宿誘致のPRをしている状況であるが、実績は特にない。市の現状としては、宿泊料金で折り合いがつかない。スポーツツーリズムを受け入れる際の補助などは考えているのか。

A 閑散期に、なかなか旅行者の意向と合わず、空室が多いような状況の対策として、合宿誘致が進められてきた。宿泊関連の効果が大いなので、担当部署や観光関係団体と協議をしていきたい。

Q 【委員会の意見】 スポーツツーリズム推進事業については、見直しを含めた新たな活用方法を検討するべきである。